


金 沢 図 書 館 に 本 や 資 料 を お 寄 せ ぐ だ さ い。



区役所の職員が本を持ち寄って、
金沢図書館に寄贈しました。
10月末までで、120冊集まりました！

 この本は、金沢区
役所職員が寄贈
したものです。

このシールがついています！



品切・絶版で入手できなかった『直木三十五
作品集』など、貴重な本も…

【直木三十五と金沢区】 直木三十五は大正から昭和
にかけての大衆作家で、「直木賞」に名を残していま
す。訪れた富岡周辺の景観が気に入り、その地に晩
年、自らの設計で家を建てました。

そ こ で

区民の皆様からの寄贈もお待ちしています。

例えば…



- ◆新書や文庫、予約の多い本
- ◆出版後およそ5年以内の資料
- ◆金沢区に関する資料※
- ◆古い写真や変わりゆく街並みの写真※
- ◆金沢区ゆかりの本※

※詳しくは、裏面をご覧ください。

【お問合せ】 金沢図書館 (電話: 045-784-5861 FAX: 045-781-2521)

開館時間: 火~金...9:30~19:00、土・日・月・休日・12/28...9:30~17:00、1/4...12:00~17:00

休館日: 施設点検日(月1回)、12/29~1/3、図書特別整理日

※金沢区に関する資料

金沢区の歴史や文化などを伝える資料は、入手できないものが多々あります。古くても結構です。処分をお考えでしたら、ぜひ、図書館へ！

※古い写真や変わりゆく街並みの写真

その時代を知る貴重な資料です。
画像データ、写真の寄贈をお願いします。

写真は、金沢八景駅付近上空から
(中丸定明様撮影)



※金沢区ゆかりの本

あの作家が、あの作品が、金沢にゆかりがあるんです！

- ◆ト部兼好(吉田兼好)『徒然草』～34段にかなざわが～
日本三大随筆の一つ。誰しも学生時代に一度は習った『徒然草』、その34段に“…武蔵の國金澤という浦にありしを…”と記されている。また、『兼好法師自撰家集』に金沢に遊んだ様子が見られる。兼好は称名寺に立ち寄ったといわれ、兼好自筆の書状懸紙(封筒)が残る。(＜岩波文庫ほか＞)
- ◆内田康夫『横浜殺人事件』～称名寺裏山の八角堂が殺人現場に～
称名寺の裏山にある八角堂で男が死んでいた。浅見光彦シリーズ。称名寺の描写・金沢八景の由来や西柴の宅地開発…、角川文庫版巻末の取材のエピソードとともに当時の横浜の様子に興味をかき立てられる。(＜角川文庫ほか＞)

【金沢区ゆかりの作家・作品】抜粋 ※詳細は金沢図書館ホームページをご覧ください。

書名	著者	出版社等	説明
「武蔵金沢の一日」 (『街頭に送る』所収)	與謝野晶子	【品切・絶版】 金沢図書館所蔵	歌集『みだれ髪』や『源氏物語』の現代語訳など知られる歌人・作家。短歌会のため、金沢を訪れたときの様子が書かれている。
『南国太平記』	直木三十五	【品切・絶版】 金沢図書館所蔵	薩摩藩のお由羅騒動を題材とした時代小説。本作で一躍人気作家となる。直木賞に名を残す。墓は長昌寺にある。
「近代金沢八景」 (『草思堂随筆』所収)	吉川英治	【品切・絶版】 金沢図書館所蔵	代表作『宮元武蔵』は有名。横浜生まれ。随筆集『草思堂随筆』の中のひとつ。金沢での一夏を過ごした様子が描かれている。
『帰郷』	大佛次郎	【品切・絶版】 金沢図書館所蔵	『鞍馬天狗』シリーズの作者として知られる。国道16号、富岡隧道付近が登場する。横浜山手に記念文学館がある。
『孤剣は折れず』	柴田錬三郎	【品切・絶版】 金沢図書館所蔵	富岡村の領主、豊島明重が起こした江戸城初の刃傷事件が取り上げられている。明重とその子、継重の供養塔が慶珊寺に残る。
「金沢八景」 (『わが恋の墓標』所収)	曾野綾子	新潮文庫	作家。女主人公の友人が、戦後に住み着いたのが金沢八景から坂道を登った崖の上の家。入江の海がよく見えたとある。
『午後の曳航』	三島由紀夫	新潮文庫	小説家、劇作家。物語の終盤、青砥から鳥見塚に向かって歩いていく。半世紀を過ぎた現在でも、ほぼ小説の描写どおりに。
「金沢八景」「遊心庵」 (『こしかたの記 続』所収)	鍋木清方	【品切・絶版】 中央図書館所蔵	美人画で知られる日本画家の回想記。谷津町に別荘を持つ。別荘に“遊心庵”と名付け、そこで過ごした様子も綴られている。
『遠き落日』	渡辺淳一	講談社文庫	作家。『光と影』で直木賞受賞。偉人野口英世ではなく、人間野口英世を描いた伝記小説。長浜検疫所時代が描写されている。
『冥府回廊』	杉本苑子	【品切・絶版】 金沢図書館所蔵	福沢諭吉の娘房子と娘婿桃介に日本初の国際女優川上貞奴を描いた作品。房子と長男駒吉の別荘が富岡にあった。

寄贈に際してのお願い

- 金沢図書館のカウンターにお持ちください。
- ご不明な点については、金沢図書館の寄贈担当(電話：045-784-5861)までご連絡ください。
- 寄贈いただいた図書の扱いは、図書館にご一任ください。
- 壊れ、日焼けや汚れ、書き込みがあるもの、古い百科事典や図鑑、すでに横浜市立図書館で所蔵している文学全集や美術全集などは、お受けできません。
- ご厚意に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。